



花高通信

第2号

岩手県立花泉高等学校

岩手県一関市花泉町字花泉竹林の沢 17-9

TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

コロナ禍の夏休み明け もうすぐ前期末考査 9月3日(木)～8日(火)

今年の夏休みは、コロナ禍の制約によっていつもとは違ったものになった、シナリオでは東京オリンピックが開催され日本国中が盛り上がっていたはずなのに・・・と考える人が少なくないでしょう。コロナ関係対策が長期化する中、岩手県内でも感染者が先月出てしまいました。学校としては、夏休み前に配布した文書のとおり対策を継続・強化していきますが、7月31日の全校集会で話が合ったようにみなさん自身についてもしっかりとした対策をお願いします。また、前期末の締め括りの考査がやってきます。前期中間時とは異なり、今回はほとんどの教科科目でテストが実施されます。3年生にとっては、その成績が調査書に直接的に反映されるデータとなります。1・2年生にとっても、進級達成や進路実現のためにとっても大切なものとなります。受験に「対策準備のやりすぎ」はありません。先を見通した計画的な学習を心がけ、前期末考査を万全な状態で受験できるよう準備を進めていきましょう。



工夫を凝らした競技構成 クラスマッチ大成功 6月18日(木)・19日(金)



チャレンジレース



チャレンジレース



選手宣誓!



生徒会長あいさつ



最強リレー



準備体操



令和2年度総合成績

1位 2B

2位 3B

3位 2A

みなさん、お疲れ様でした!



優勝杯授与

前期生徒総会 執行部案が議決承認 5月21日(木)

「Stay gold ～それぞれの個性を活かそう～」

今年度の執行部の活動方針や部活動・委員会方針、生徒会会計予算案など重要案件について執行部から提案されました。今年のスローガンは、輝き続ける花高生を目指し、一人ひとりが精一杯頑張っていこうというものです。すべての行事が計画どおり実施できるかどうか、コロナ禍では不透明なところもありますが、無事に活発な一年にしたいと思います。また靴下の整容基準案についても承認され、明確化されました。基準では「就職時、進学時の面接試験に適しているという観点」となっています。これまで実態が曖昧になっていたところを明確化することで、生徒自身を守っていくことになる、という説明があり皆納得した様子でした。



前期生徒総会



緊張した面持ちの野球部

野球部壮行式 応援団精一杯のエール 6月30日(火)

岩手県独自大会となった今年、高校野球大会の壮行式が行われました。今年は高校総体の中止により、例年行っている壮行式も取りやめになりました。応援歌練習が中止になるなど、応援団の活動そのものを行うことができませんでした。応援委員は団長の南浦笙くんを中心に練習を積み本番に臨みました。心を込めた精一杯のエールは、体育館にきれいな共鳴となって野球部員の胸に届きました。選手のみなさんは、学校の期待を一身に受け、緊張した表情でしたが、練習してきた成果を出し切るという気合いが感じられました。試合は千厩に2-4と、残念な結果となりましたが、その千厩に勝った一関学院は県代表として東北大会に出場しました。



心を込めた精一杯のエール

花泉中3年生 進路学習来校

7月14日(火)



高校での生活についての説明

高校受検を控えた花泉中学校3年生が、高校の授業や施設を見学し、進学の意識を高めようと本校を訪問しました。当日は、コロナ感染対策ということもあり、3つのクラスが時間をずらして1時間程度見学しました。今年は、本校で行う



教室後ろから授業見学

中学生一日体験入学と中学校で行う高校説明会が中止となったため、中学生にとってはとても貴重な機会となりました。「中学校と高校はどのような点で違うのかがわかりました。」「高校生がとても大人に見えました。」「高校って普通高校・全日制だけではないんですね。」などの意見を聞くことができました。中学生の進路学習の一助とし、高校選択に役立ててもらうことができ、本校としても有意義な一日となりました。

卒業先輩の話を聴く会 6月25日(木)

恒例行事である卒業先輩の話を聴く会がコロナ対策がとられる中、無事に行われました。先輩方はH28年度卒業、3年生の4つ上、22歳になる皆さんです。製造、販売、銀行、介護でバリバリ仕事されている方々、書面参加ですが現役の大学生と、さまざまな分野からおいでいただきました。経験談によるアドバイスに耳を傾け、メモをとっている花高生の姿が印象的でした。入社試験でどんなことを見られたか → 人柄を見られた。仕事のやりがいとはどんなときか → 上司からほめられたとき・お客様から感謝されたとき。など、実感のこ



花高生時代を振り返り後輩に助言する先輩方

もった答えをいただきました。試験対策としては、作文を何回も書く、コミュニケーション能力をつける、鏡を見てあいさつの練習をするなどがありました。どれも普段の心がけを意識しておかないと、直前のみの対応では不十分であるということもわかりました。また、同じ年代の人とだけ話すのではなく広く話をするのも大切だとの助言もありました。社会にでるといことは、「お金を稼ぐ」ことでもあります。お金は労働の対価であり、それを支払う人がいるという意味を考えると先輩方のアドバイスがわかると思います。

菅原沙羅さん(2年) 県弓道大会 堂々2位

7月11日(土)、岩手県宮武道館において、高体連弓道専門部主催「弓道強化錬成会」が行われ、本校の菅原沙羅さんが、女子の部で2位に輝きました。今年国体選考一次が終わったところで国体中止決定があり、以降の選考会が取りやめとなりました。そこで、県独自大会として、一次選考を通過した選手(男子19名、女子27名)を対象に開催された大会でした。県内の強豪校と競い、12射中9中という見事な成績でした。こつこつと努力を積んできた成



- 第1位 福岡工の選手(10中)
- 第2位 菅原沙羅さん(9中)
- 第3位 福岡高の選手(8中)

果です。弓道部から学校全体が盛り上がっていき期待しています!

PTA主催 環境整備 7月18日(土)

7月18日(土)早朝、PTA主催の環境整備が行われました。今年はコロナ禍により、刈り払い機による草刈りのみのお願いとなりました。集まっていたいただいた保護者の皆さんによって、グラウンド外周下の土手はあっという間にきれいになり、無事に終了することができました。朝早くからの作業、大変ありがとうございました。



モリウシ希望ネット花泉「まちづくり高校生アンケート」集計結果より

実施日: 7月9日
回答率: 99.1%

花泉市民センターの組織であるモリウシ希望ネット花泉・産業振興専門部会より生徒対象のアンケートの依頼を受け、7月に実施しました。その結果の一部を紹介します。このアンケートは、魅力的で活気のある、住みやすい町づくりをめざし、地域を担う花高生の意見を聞き、まちづくりをともに進めていきたいという目的で実施されたものです。

花泉が好きですか?の問には、73名(68.9%)が「好き」、16名(15.1%)が「好きではない」と回答しました。また、好きな理由は「自然が豊か」、「人が優しい」、「生まれたまち」、「平和・安全」でした。好きでない理由は「店や娯楽施設が少ない」、「何もない、活気がない」、「田舎すぎる」でした。内容が相反する理由となりました。多数決ではない、まちに対する想いを具体化していくのは、高校生世代であることは間違いありません。

今月22日(土)に産業振興専門部のみなさんと花高生の懇談会が予定され、代表生徒が出席する予定になっています。若者代表として希望する未来に少しでも近づけるよう、若い感性でさまざまな意見を出すことができるよう、心から期待しています。(つづく)

あなたは、花泉が好きですか?



好きな理由・好きでない理由は?

自然が豊か	54	店や娯楽施設が少ない	7
人が優しい	17	何もない、活気がない	6
生まれたまち	3	田舎過ぎる	3
平和・安全	3		